

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【公表番号】特表2003-521355(P2003-521355A)
 【公表日】平成15年7月15日(2003.7.15)
 【出願番号】特願2001-556547(P2001-556547)
 【国際特許分類】

A 6 1 N 1/39 (2006.01)

A 6 1 B 5/0402 (2006.01)

A 6 1 B 5/0245 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/39

A 6 1 B 5/04 3 1 0 M

A 6 1 B 5/02 3 2 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月6日(2008.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも一つの第 1 高電圧徐細動電極と、
少なくとも一つの第 2 高電圧徐細動電極と、
前記第 1 及び第 2 電極の少なくとも一つの近傍に設けられるとともに機械的に連結され
ている少なくとも一つの手動操作性制御器と、前記手動操作性制御器は力感知要素および
加速器のいずれでもなく、救助者の手又は指の動作によって操作可能であることと、
前記第 1 及び第 2 電極、並びに前記少なくとも一つの手動操作性制御器に電気接続され
て、救助者による手動操作性制御器の使用に基づき救助者に救急蘇生プロンプトを提供す
べく形成された救急蘇生制御箱と前記救急蘇生制御箱は前記手動操作性制御器とは機械的
に分離して設けられていることとからなり、患者を救助する救助者によって使用されるた
 めの、救急蘇生システム。

【請求項 2】 前記第 1 及び第 2 電極のうちの少なくとも一つと機械的に連結された
複数の手動操作性制御器からなる請求項 1 に記載の救急蘇生システム。

【請求項 3】 前記少なくとも一つの手動操作性制御器は、救急蘇生操作を休止させ
る休止制御器からなる請求項 1 に記載の救急蘇生システム。

【請求項 4】 前記少なくとも一つの手動操作性制御器は、救急蘇生の特定の局面に
おいて救急蘇生制御システムからのプロンプトを要請するヘルプボタンからなる請求項 1
に記載の救急蘇生システム。

【請求項 5】 前記救急蘇生の特定局面は患者の気道洗浄である請求項 4 に記載の救
急蘇生システム。

【請求項 6】 前記救急蘇生の特定局面は患者の呼吸の補助である請求項 4 に記載の
救急蘇生システム。

【請求項 7】 前記救急蘇生の特定局面は患者の循環の補助である請求項 4 に記載の
救急蘇生システム。

【請求項 8】 前記第 1 電極が胸骨電極であり、前記第 2 電極が頂部電極である請求
項 1 に記載の救急蘇生システム。

【請求項 9】 前記手動操作性制御器はユーザによって押圧されるべく形成されてい

るボタンである、請求項 1 に記載の救急蘇生システム。

【請求項 10】 心肺蘇生の胸部圧迫に適切であるように患者の身体領域に配置すべく形成された心肺蘇生パッドと、

前記心肺蘇生パッドと相互接続された圧迫感知要素と、

前記圧迫感知要素に電気接続されるとともに、前記圧迫感知要素から圧迫情報を受信すべく形成された救急蘇生制御箱と、

前記心肺蘇生パッドと機械的に連結されるとともに前記救急蘇生制御箱と機械的に分離して設けられている、少なくとも一つの手動操作性制御器と、前記救急蘇生制御箱はこの少なくとも一つの手動操作性制御器に電気接続され、救助者による手動操作性制御器の使用に基づき救助者に救急蘇生プロンプトを提供すべく形成されていることとからなる、心肺蘇生システム。

【請求項 11】 前記手動操作性制御器はユーザによって押圧されるべく形成されているボタンである、請求項 10 に記載の心肺蘇生システム。

【請求項 12】 患者に除細動ショックを自動的に与えるための方法において、

除細動のショックを患者に与えるため、及び心電図信号を検出するための複数の電極を患者胸部に当てる工程と、

除細動によって治療可能な心音であるかを判定すべく、前記心電図信号を解析する工程と、

心肺機能蘇生ための胸部圧迫を行っている、1つの期間と次の期間の間に、心電図信号データによる前記心電図解析を行う工程とからなる、方法。

【請求項 13】 前記心電図信号の解析結果に基づく指示をユーザに与える工程をさらに備える、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】 前記指示は、心肺機能蘇生を行うこと、又は継続することを指示するものである、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】 前記心電図信号の解析に続き、患者に除細動ショックを与える工程をさらに備える、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 16】 除細動ショックを与えるために患者胸部外側に当てるように形成されている少なくとも2つの除細動電極と、

前記患者から1つ以上の心電図信号を得るための信号源と、

前記除細動電極に除細動ショックを与えるための除細動回路と、

前記心電図信号を受信及び処理して除細動ショックが与えられるべきか、又は心肺蘇生が行われるべきかを判定するとともに、除細動ショックを与えること、又は心肺蘇生を行うことのいずれを行うかについてユーザに指示を出す制御箱とを備え、

心肺蘇生が行われるべきか否かを判定し、及び心肺蘇生を行う指示を与えることは、救助の間のいかなる時点においても行われる、救助システム。

【請求項 17】 前記制御箱は、除細動ショックの提供を開始するために、ユーザによって操作可能な制御器を含み、除細動ショックを提供するための指示は、前記ユーザによって操作可能な制御器を作動するための指示を含む、請求項 16 に記載の救助システム。

【請求項 18】 前記ユーザによって操作可能な制御器は、前記ユーザによって押圧されるべく形成されたボタンである、請求項 17 に記載の救助システム。

【請求項 19】 心肺蘇生が行われるべきか否かの前記判定、及び、心肺蘇生を行う指示は、いかなる除細動ショックを与える判定よりも前に行われる、請求項 16 に記載の救助システム。

【請求項 20】 前記心電図信号の信号源は、前記除細動電極である、請求項 16 に記載の救助システム。

【請求項 21】 前記除細動回路は前記制御箱の中に収容されている、請求項 16 に記載の救助システム。